

船舶事故等調査報告書

平成21年4月23日

運輸安全委員会(海事専門部会)議決

事故等番号	2009仙第17号	
事故等名	貨物船八徳丸衝突(岸壁)	
発生年月日時刻	平成21年1月16日18時38分ごろ	
発生場所	青森県八戸市八戸港住金鉱業株式会社岸壁 (概位 北緯40° 32.0'、東経141° 33.0')	
事故等調査の経過	調査の概要:平成21年2月9日 仙台・地方事故調査官が海難報告書を入手し、2月10日船長から口述聴取 原因関係者からの意見聴取:意見なし	
事実情報	船種・船名・総トン数 貨物船 八徳丸 739トン 船舶番号 134819 船舶所有者等 ウインロード有限会社	
乗組員等に関する情報	船長 三級海技士(航海)	
負傷者	なし	
損傷	左舷船尾角部凹損(高さ約30cm、幅約30cm、深さ約2cm)	
事故等の経過	本船は、砕砂2,150トンを積載し、青森県八戸市八戸港住金鉱業岸壁を神奈川県京浜港横浜区に向け出港し、離岸後に右舷錨を揚錨中、西風により船尾が岸壁側に圧流され、機関と舵を併用して岸壁との接触を回避しようとしたものの、平成21年1月16日18時38分ごろ、左舷船尾が同岸壁北西端に衝突した。 当時、天候は晴れで風力4の西風が吹き、潮候はほぼ高潮時であった。	
分析	気象・海象の関与 乗組員等の関与 船体・機関等の関与 判明した事項の解析	あり あり なし 本船は、離岸後、右舷錨を揚錨中、西風により船尾が岸壁側に圧流された際、当初、機関だけを使用して岸壁との接触を回避しようとし、その後、機関と舵を併用して岸壁との衝突を回避しようとしたが、操船を適切に行わなかったものと考えられる。
原因	本事故は、本船が離岸後に揚錨中、西風により船尾が岸壁側に圧流された際、操船を適切に行わなかったため、岸壁と衝突したことにより発生したものと考えられる。	
その他の事項	なし	